

## (7) 北 陸



北陸地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はこのところ減少している。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更)

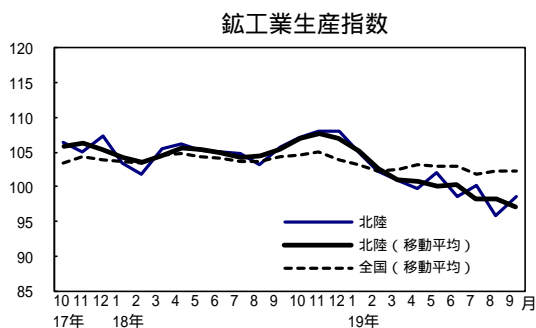
### 前回からの主要変更点

	前回(令和元年8月)	今回(令和元年11月)	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、 <u>緩やかな回復基調</u>	弱さがみられるものの、 <u>緩やかな回復基調</u>	
鉱工業生産	弱含み	<u>このところ減少</u>	
雇用情勢	着実に改善	改善	

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はこのところ減少している。

7 - 9月期には、電子部品・デバイスは、電子部品が減少したことにより、減少した。化学は、医薬品が増加したことにより、増加した。生産用機械は、金属加工機械が減少したことにより、減少した。金属製品は、建設用金属製品が増加したことにより、増加した。繊維は、衣類が増加したことにより、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
電子部品・デバイス	15.3	11.5	1.1	8.2	11.5	3.5
化学	14.0	2.4	3.3	3.3	0.1	10.1
生産用機械	11.8	2.2	11.0	0.1	2.3	1.1
金属製品	8.1	6.9	1.5	6.5	6.2	5.3
繊維	6.9	1.2	1.9	0.9	2.1	1.0
鉱工業	100.0	2.5	1.9	1.6	4.3	2.7

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北陸の最新月は速報値。  
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。  
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 7 - 9月期、9月は速報値。

## 2. 個人消費の動向

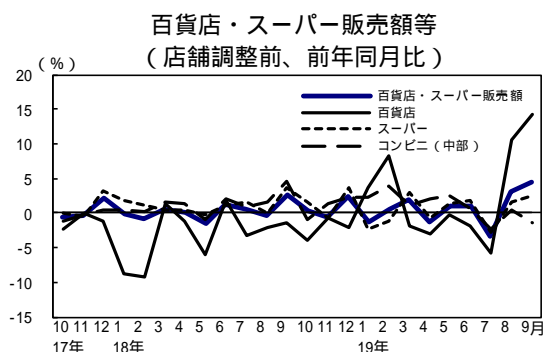
個人消費は緩やかに増加している。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比1.8%減、8月は同3.1%増、9月は同2.2%増となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

7月は、梅雨明けが遅れ、気温が低めに推移したことから、衣料品、飲食料品等の夏物商品が振るわず、前年を下回った。8月は、気温が高めに推移したことなどから衣料品、飲食料品等の夏物商品に動きがみられ、前年を上回った。9月は、衣料品や高額品などに動きがみられ、前年を上回った。



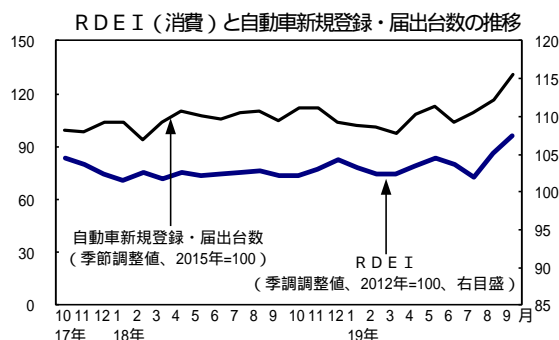
	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.9	1.8	3.1	2.2
百貨店・スーパー(*2)	1.4	3.3	3.0	4.6
百貨店(*2)	5.5	5.7	10.6	14.2
スーパー(*2)	0.4	2.7	1.5	2.5
コンビニ(*2)	1.1	2.3	0.4	1.4
乗用車(*3)	11.4	1.1	4.6	26.3
(季節調整値)(*3)	9.7	4.9	6.9	12.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

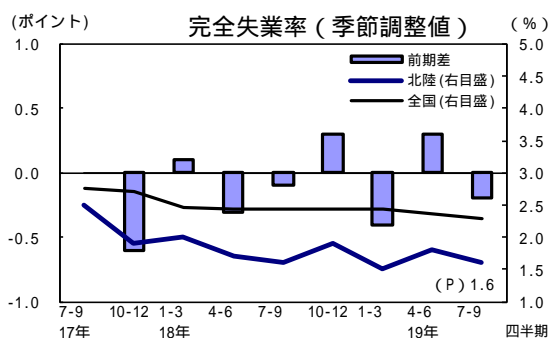
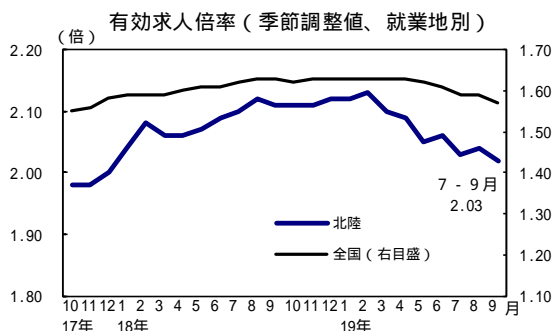
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 7-9月期の値は暫定値。